

BEST AVAILABLE COPY

PUBLICATION NUMBER : 61006984
PUBLICATION DATE : 13-01-86

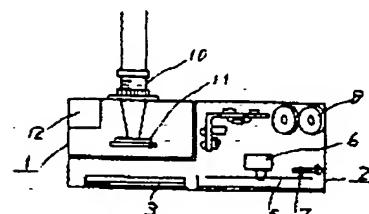
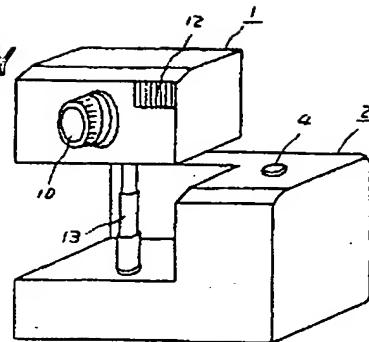
APPLICATION DATE : 21-06-84
APPLICATION NUMBER : 59126474

APPLICANT : TOSHIBA CORP;

INVENTOR : SASAKI MINORU;

INT.CL. : H04N 5/225 G03B 17/02 G11B 31/00

TITLE : ELECTRONIC CAMERA EQUIPMENT



ABSTRACT : PURPOSE: To change the inclination of an image pickup pattern by separating an image pickup section and a recording section, connecting both the sections with a telescopic rod and transmitting an electric signal from the image pickup section to the recording section through a wire inserted into the said telescopic rod.

CONSTITUTION: The titled equipment consists of the image pickup section 1 and the recording section 2, the recording section 2 has an electronic view finder 3, the height, direction and angle of the image pickup section 1 are decided and a shutter 4 is depressed, then a still picture is written on a magnetic sheet 5 in the recording section 2 by using a magnetic sheet drive motor 6 and a magnetic head 7. The image pickup section 1 and the recording section 2 are connected by the telescopic rod 13, in which an electric wire connecting the image pickup section 1 and the recording section 2 is inserted.

COPYRIGHT: (C) JPO

⑨ 日本国特許庁 (JP)

⑩ 特許出願公開

⑪ 公開・特許公報 (A) 昭61-6984

⑫ Int. Cl.
H 04 N 5/225
G 03 B 17/02
G 11 B 31/00

識別記号

府内整理番号

⑬ 公開 昭和61年(1986)1月13日

7155-5C
7610-2H
6789-5D

審査請求 未請求 発明の数 1 (全3頁)

⑭ 発明の名称 電子カメラ装置

⑮ 特 願 昭59-126474

⑯ 出 願 昭59(1984)6月21日

⑰ 発明者 佐々木 実 川崎市幸区小向東芝町1 株式会社東芝総合研究所内
⑱ 出願人 株式会社 東芝 川崎市幸区堀川町72番地
⑲ 代理人 弁理士 則近 憲佑 外1名

明細書

1. 発明の名称

電子カメラ装置

2. 特許請求の範囲

(1) 光学像を固体撮像素子により電気信号に変換し磁気媒体に記録する電子カメラ装置において、固体撮像素子を含む撮像部と磁気媒体を含む記録部を分離し、前記撮像部と記録部を伸縮自在桿で結合することを特徴とする電子カメラ装置。

(2) 伸縮自在桿中に撮像部と記録部間の信号線を挿入することを特徴とする特許請求の範囲第1項記載の電子カメラ装置。

(3) 記録部には電子ピューファインダを持つことを特徴とする特許請求の範囲第1項記載の電子カメラ装置。

3. 発明の詳細を説明

〔発明の技術分類〕

本発明は光学像を固体撮像素子により電気信号に変換し磁気シートに記録する電子カメラに関する。

〔発明の技術的背景とその問題点〕

現状のスチルカメラは、光学像をレンズによりフィルム面に結像させて記録を行うものであるため、レンズ等光学系とフィルムは分離することは不可能である。一方電子カメラにおいては光学情報をおもに電気信号に変換するため撮像・記録の分離は可能である。

〔発明の目的〕

本発明は上述の点に注目した全く新しい電子カメラを提供することを目的とするものである。

〔発明の概要〕

本発明は撮像部と記録部とを分離可能とし、その間を伸縮自在桿で結合し、撮像部よりの電気信号を前記伸縮自在桿中に挿入した配線により記録部に伝達することを特徴とする電子カメラである。

〔発明の実施例〕

第1図は本発明の1実施例である。1は撮像部、2は記録部である。記録部には電子ピューファインダ3を有し撮像部の高さ、方向、アングルを決め、シャッター4を押すと同時に記録部2中の

特開昭61-6984(2)

磁気シート5に静止画が書き込まれる。

第2図(a)および(b)はそれぞれ第1図の上面図および背面図である。撮像部にはレンズ10、固体撮像系子11、ストロボ12等を組み込む。記録部には電子ビューファインダ3、磁気シート5、磁気シート駆動用モータ6、磁気ヘッド7、電池8等が組込まれている。

撮像部1と記録部2は伸縮自在棒13で結合されておりその中に撮像部と記録部を結ぶ磁気配線が挿入されている。

上述の構成の電子カメラの使用法を説明する。持ち運び時は伸縮自在棒を組め撮像部1と記録部2は一体化されている。高い位置から撮影を望む時は結合棒13を伸ばし撮像部1のみを高い位置にし、記録部2のファインダによりアングル、フォーカス等を決めシャッター4を押し磁気シートに書き込む。また別の使用法としては第3図に示す如く撮像部のみ角度を変え撮影者の方向と異なった方向の撮影も可能である。また第4図に示す如く記録部を三脚等りに使用することも可能で

ある。

第5図に他の応用例を示す。この例は伸縮自在棒13をフレキシブルに曲る構造としたものであり、記録部の位置に制約されずに撮影画面の傾きを変更することが可能である。

〔発明の効果〕

以上述べた様に従来のフィルムカメラと異なり、撮像部と記録部を分離しその間を伸縮自在棒で結合することにより今迄に無い使用法が可能となり、その効果は絶大である。

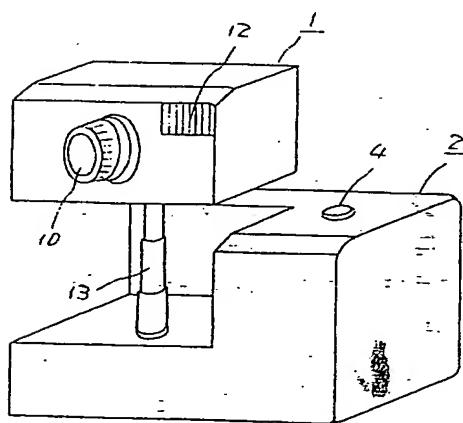
4. 図面の簡単な説明

第1図は本発明による電子カメラの一例の斜視図、第2図は第1図の上面図および背面図、第3図および第4図はそれぞれ本発明の電子カメラの使用法の一例を示す図、第5図は本発明の他の実施例である。

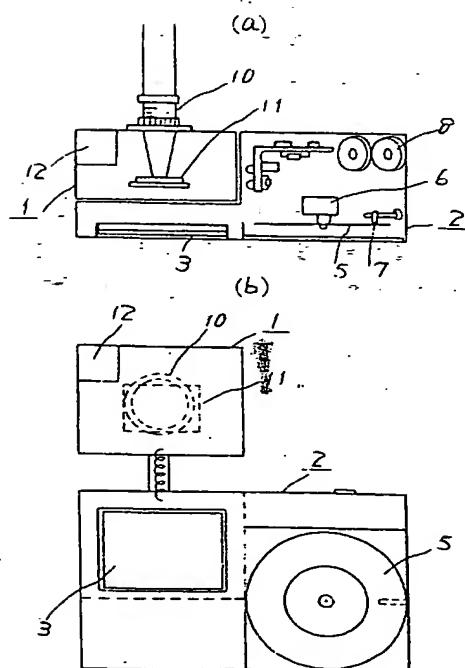
1…撮像部、2…記録部、13…伸縮自在棒、3…電子ビューファインダ。

代理人弁理士 関近憲祐(ほか1名)

第1図

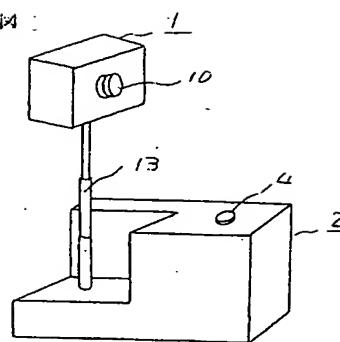


第2図

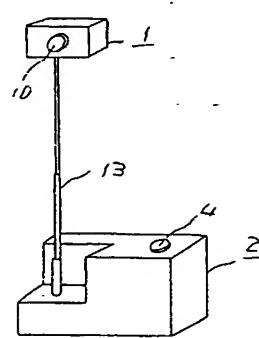


特開昭61-6984(3)

第3図



第4図



第5図

